

## 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴：入院中は見守り。</li> <li>・洗身：入院中は介助</li> <li>・食事：入院中は普通食の 1/2~1/3 を摂取、在宅では自立、妻と一緒に摂る。</li> <li>・洗面：自立。</li> </ul>
12	IADL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理・簡単な調理はできていた。朝食は自分で準備していた</li> <li>・服薬：妻が管理し、準備・確認している。</li> <li>・掃除：時々妻を手伝う。</li> <li>・洗濯：もともと習慣がない。</li> <li>・整理・物品の管理：妻。</li> <li>・金銭管理：お小遣い程度の管理。</li> <li>・買い物：近くのコンビニへ行く。</li> </ul>
13	認知機能や判断能力	<p>長女の家へは孫が迎えに来て、一緒に行く。コンビニエンスストアには買い物に行き知人とコミュニケーションをとっていた。</p> <p>妹の死からまた、夜中に時々起こされるようになり、ストレスになってきている(妻)。</p>
14	コミュニケーションにおける理解と表現の状況	<p>視力・老眼のため眼鏡使用 聴力：普通の声で応答</p> <p>自分の携帯電話をもっており、孫とよく話す(簡易登録している)。操作はできている。</p> <p>意思疎通：何度も同じ質問を繰り返すことが多くなってきた。</p>
15	生活リズム	妹の死からまた、夜中に時々妻を起こす。
16	排泄の状況	尿意・便意あり。入院中は便秘で処方あり。 入院中の日中 6-7 回、うち夜間 2-3 回、排便は 3-4 日に 1 回。
17	清潔の保持に関する状況	<p>妻が入浴を促し、その日の服の準備や洗濯もしている。</p> <p>寝具は季節相応で日常的に妻が調整している。</p> <p>爪切りは、まめに自ら行っている(習慣のようである)。</p>
18	口腔内の状況	口腔の状態・齶歯、痛み、出血なし。全部自分の歯。乾燥傾向。自分で歯磨きをしているが、妻は確認していない。年 1 回、妻と歯科健診している(今年はまだ行っていない)。
19	食事摂取の状況	<p>好き嫌いはないが、どちらかというと肉を好んで食べる。入院中は食欲低下。入院前は朝 6 時(パンやサラダ)、昼は 12 時、夕飯(晩酌お酒コップ 1 杯) 18 時と大体同じ時間に摂取している。間食の習慣はありません。時間がかかるが、朝食は食べたいものを準備して食べている。</p> <p>入院前・水分(1800 程度：朝は、牛乳十コーヒー 500ml に昼は、コーヒー 300ml、夜は、お酒 500ml. その他食事から)</p>
20	社会との関わり	町内会の行事にも積極的に参加していたが認知症発症後退会。通所の詩吟の仲間とは交流に支障なく楽しんでいた。認知症発症で詩吟の会をやめていたが、また再開しはじめたばかりであった。車の免許は返納。
21	家族等の状況	<p>主介護者：妻 家族の状況：妻がいないと O 氏は不安になる。長女は、隣町に住んでおり、すぐ来られるが働いているため、孫やサービスに頼り、休みのときに時々様子を見に来ている。隣県在住の次女は同居の義理の両親の介護をしており、直接の支援を毎回は望めない。しかし、長女とは頻回に連絡を取り合っている。長女は、認知症の親をもつスーパーの同僚からいろいろと教えてもらい、自分でも介護や疾患について調べ、認知症への知識を得ようとしている。また孫は O 氏との関係はよいものの現在学校の実習が入り、なかなか来られない状況が続いている。</p> <p>周囲のサポート：日頃から地域とのかかわりがあり関係はよい。</p>

## 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント

		本人の意思よりも、妻がほとんどのことを決定している。長女は、認知症介護の情報から、父親の意思を大事にして支援していきたいと考える。
22	居住環境	住宅・持ち家。1階で生活している。子ども部屋だった2階は使用していないが時々2階に行き転倒の危険がある。手すりは設置している。浴室やトイレ、玄関には大きい段差はない。ベッド使用。トイレは洋式。日当たりはよい。大きな庭があり、その手入れを孫としている。
23	その他留意すべき事項・状況	特になし

### ※住宅の見取り図(必要に応じて)



長崎県介護支援専門員協会（転用禁止）